

日本ホスピタリティ観光学会が設立総会開催 観光に誇りと幸福を「真の産学連携」目指す

日本ホスピタリティ観光学会の設立総会が4月20日、東京・水道橋のJTBカレッジで開催された。神奈川大学国際日本学部教授の島川崇教授を会長とする新学会は、従来の学会の在り方に疑問を投げかけ、「既存の学会を改革するよりも、新しいものを作る」として、新学会で産業界の最前線とアカデミアの真の連携を目指す。



島川会長

同学会は設立の目的として、(1) ホスピタリティ・観光学分野への学術的貢献 (2) ホスピタリティ・観光従事者の人間的幸福の追求 (3) 地元住民の幸福に資する観光振興策の検討 (4) 国民の幸福に資する観光産業及び観光地域の持続可能な発展への貢献 (5) 時代の要請に適い青少年の幸福に資する観光人材の育成を掲げた。

島川会長は「観光立国に向けて進んでいるにもかかわらず、私たち自身が本当に幸せになっているのか」と問うた。「100年先を見据えた観光の持続的発展のためには、日本人全体が『私たちは観光で生きている』という認識を持ち、それを誇りに思い、幸福を感じる枠組みを作らなければ、観光の持続的な発展は望めない」として、学会の目的に「幸福」の概念を強く打ち出した。

年会費安価、観光教育実践活動支援 観光学教科書刊行推進、査読改革

そして、7つの特色を掲げて、従来の観光学系学会との差別化を図る。

第1に産業界と学術界の真の連携を目指す点を強調。島川会長は「産学連携と言

いながら、産に学は何の貢献もできていない、産の方は学を相手にしていない」と現状を批判し、実質的な連携の必要性を訴えた。

第2の特色として年会費の安価設定を挙げた。研究会員は6000円、一般会員は2000円と低価格に抑えた理由について島

川会長は「研究費のない産業界の方々、フルタイムではない雇用形態の研究者の方々には、今まで学会の年会費の負担も大変だった」と説明。4月20日現在の新学会の会員数は39名。産業界の最前線で活躍する人材の参加を促進する。

第3に学際的アプローチの重視を掲げた。人文学、社会科学、自然科学のバランスを取ることで、「単なる儲け至上主義、効率至上主義」に陥らない観光学を追求するとしている。

第4に観光教育の実践活動支援を挙げた。大学だけでなく、大学院教育、短大・専門学校教育、職業訓練校に対する支援も視野に入れる。島川会長は「観光学系学会は研究発表の場は提供できていても、教育の実践活動についての示唆は与えられてこなかった」と述べた。

第5に観光学諸科目の教科書刊行推進を掲げた。「観光の現場は日々進化しているが、多くの教科書がアップデートされておらず、その進化についていけない」との認識から、学会として良質な観光学教科書の刊行を推進するとしている。

第6に査読システムの改革を打ち出した。「落とす査読ではなく、世に問う査読」として、「論文として未成熟であれば、伴走しながら論文の域まで高めていく査読システムを構築する」と説明した。

最後の第7に「参加したくなる集会」を目指す。島川会長は「既存の学会では、学術発表を行う際も自分の発表の回だけ参加してあとは

聞かずに帰ったり、総会は委任状で済ませたりしている会員が多い」と指摘。

「活発な議論を通して、知的発見に富んだ集会」を企画する方針を示した。

田川JTB相談役が学会顧問に就任 今年度重点項目8チーム立ち上げ

島川会長の下、副会長に宝塚医療大学観光学部の神田達哉准教授、事務局長にサービス連合情報総研事務局局長が就任。同学会の事務局も同総研のある東京都新宿区に置かれる。顧問には産学連携を象徴してJTBの田川博己相談役が就任した。

田川顧問は日本ホスピタリティ観光学会の設立に際して、「持続可能な観光の実現に向けて、ツーリズム産業の明るい将来のために、ホスピタリティマインドを持った次世代の観光人材の育成と教育プログラムの開発や普及に大きな役割を果たすことを期待する」とコメントを寄せた。

日本ホスピタリティ観光学会は2025年度の主な活動計画として、ウェブサイトの開設（4月21日）、アカデミアサロン・アカデミアカフェの不定期開催、論文集の発行、地方例会（2026年2月下旬・伊豆）、研究大会と総会の開催（2026年5月中旬）を実施する予定。

同学会は重点プロジェクトとして、(1) 論文査読の新しいあり方検討 (2) 効果的な観光学の授業検討 (3) 教科書執筆推進 (4) 広報・PR (5) アカデミアカフェ・アカデミアサロン (6) 効果的な産学連携の検討 (7) インバウンド最適化提言 (8) ホスピタリティの評価の8チームが立ち上がった。このうち教科書執筆推進チームは、観光地域づくりと観光と美術の教科書に担当が分かれる。

島川会長は「小さく始めて大きく育てるのがサステナブルツーリズムの要諦。これだけのメンバーが集まってきたことは本当に感慨深い」と述べ、温かく開かれた雰囲気のある学会を目指す意向を示した。4月21日には日本ホスピタリティ観光学会のウェブサイトがカットオーバーした。

[*日本ホスピタリティ観光学会ウェブサイトURL](#)



日本ホスピタリティ観光学会設立総会に出席した学会会員一同